

マギル大短期研修締め切り迫る 11日にマギル大ケビン氏訪問

来年春の1か月、カナダ・マギル大に滞在して英語を集中学習するマギル大短期英語研修の最終説明会が29日、人文学部で開かれた。

会場には、教育学部、人文、理学部、工学部の学生らが約20人集まり、説明役のシュミット先生やシャノン先生、佐々木友美先生の講話



に耳を傾けていた。研修に参加すれば、大学から補助の5万円支給されるとあって参加者の拡大が期待されている。

冒頭、シュミット先生がパワーポイントを使って、面積でロシアに次いで世界第2位、



人口3400万人のカナダの自然などを紹介。これに続いて、マギル大英語研修の中身を触れたほか、マイナス20度程度まで下がり、厳しい寒さの冬のモンリオールにあるマギル大の1か月の乗り切り方をレクチャーした。

これに次いで、この春に研修に参加した教育学部生がその体験談を披露、



「現金は、5万円程度を持参、不足分は、クレジットカードで賄った」、「モンリオールはフランス語圏なので、最初は面食らった」、「駅の名前にアナウンスのないバスの乗車は要注意」などと、おっかなびっくりの体験と

それへの対応をアドバイスした。

研修参加費は、50万円。オプションの帰国直前のナイアガラの滝とトロント1日観光旅行に参加すれば、5万円の追加費用が必要となる。



締切は、10月31日(土)。所定の申込書、誓約書、基本情報の書類に記入して提出、申込金2万円を所定の講座に振り込む。

次回以降の説明会は、研修参加を前提にしたホームステイ先の登録や研修参加を前提とした実質的な説明となる。

11月11日(水)には、マギル大から英語研修のケビン・スタンレー氏と新しく加わった Yukinori HIRATA さんが本学を訪れ、夏にも開催されているマギル研修のPRをする。同日昼に説明会を開催する段取りである。(終)